

全自動生化学測定装置詳細仕様書

No.	品名	数量	技術的要件等
1	全自動生化学測定装置	1	1 同等品不可
	ロシュ・ダイアグノスティックス		2 純水装置を付帯すること
	コバス8000<702>+ISE900		3 バックアップ時間10分以上、定格出力容量7.5KVA/6.0KWのUPSを付帯すること
			4 文書管理システムLab'Qを付帯すること
2	全自動生化学免疫測定装置	1	1 同等品不可
	ロシュ・ダイアグノスティックス		2 純水装置を付帯すること
	コバス8000<702・801>+ISE900		3 バックアップ時間10分以上、定格出力容量10KVA/8.0KWのUPSを付帯すること
3	検体前処理分注装置及び搬送システム	1	1 処理能力は1:1分注時で300検体/時間以上であること
	想定機器		2 使用可能検体バーコードは16桁以上対応可能であり、NW-7,ITF,CODE39,CODE128より2種選択可能であること
	株式会社日立製作所		
	LabFLEX2600搬送システム		3 分注プロトコルは20項目以上設定できる機能を有すること
			4 分注精度はCV値1%以下であること
			5 臨床検査システムと接続し、分注情報、分注結果情報等の通信が可能なこと
			6 No.1の生化学測定装置とNo.2の生化学免疫測定装置と分岐して接続が可能であること
	7 搬送ラインとの一体型として運用が可能であること		
4	全自動グリコヘモグロビン分析計	1	1 No.5の全自動糖分析装置とブリッジ接続が可能であること
	想定機器		2 HPLC法による高精度な測定が可能であること
	東ソー株式会社		3 HbA1c国際標準化対応であり日本糖尿病学会NGSP値にも対応していること
	HLC-723G11		4 サンプルローダー及びハンディーバーコードスキャナを付帯すること
5	全自動糖分析装置	1	1 No.4の自動グリコヘモグロビン分析計とブリッジ接続が可能であること
	想定機器		2 血清・血漿・尿などの検体を160検体/時以上で処理できること
	株式会社エイアンドティー		3 バーコードの読込不良や濃度異常検体などのエラー等を検体マップ画面に色別に表示可能なこと
	GA09 II		4 検体必要量はサンプルカップの場合で70 μ L、採血管で1mLであること
			5 自動キャリブレーションの間隔を任意設定できること
			6 最大1000検体のデータをメモリーできること